

SDCのデータコンサルティングについて

システムやデータの複雑化とリフォーム

システムやデータは必要に応じて追加や変更を繰り返すものです。これはどのような企業/団体にとっても同じことで、運用期間が長いほど複雑になっていきます。

言わば増改築を繰り返して歪な構造となってしまった建築物のようなものなのです。

一般的な建物がリフォームを行うように、システムやデータに対しても同様のアプローチによって、使い勝手や効率の良いシステムを再構築することが可能です。

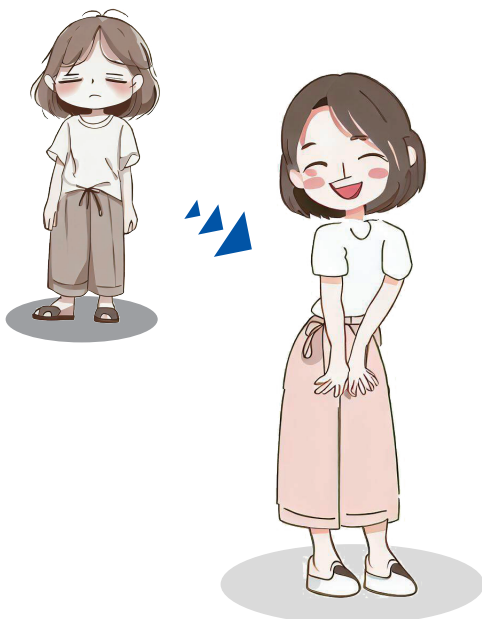


SDCのデータコンサルティングで期待できること

- 1 情報の一元管理による管理コストの低減と、アクセスの迅速化が期待出来ます
- 2 データの整理によって構造がシンプルになり運用面の効率化・安定化が期待できます
- 3 データの分析結果の活用で、事業運営方針の策定などに役立てられます

具体例

- ✓ 事務作業の効率化、部署間問い合わせの省力化になる
- ✓ 設備機械(機械、建物、車両など)や工場(倉庫)全体の在庫資材の適正化
- ✓ 業務のスリム化や経費内訳の監視により、コスト削減も見込めます



データへの確かな技術が提供するもの

現在、データコンサルティングをうたう多くの企業は「データの利活用」を軸とした商材を提供しておりますが、SDCではシステム内の「データ構造分析・再構築」を確かな技術で提供するものが主体となっております。

個人へのアプローチに例えますと、他社は人の意思決定に資する情報提供者であるのに対して、SDCではその人物自体の健康向上に供する医療従事者の立場になります。

ですからシステム自体を全体最適化し、効率化、迅速化、省力化に直接寄与するデータコンサルティングを提供できるのです。